

「第3回旧 RD 最終処分場跡地利用協議会」の議事要録

日時：令和4年11月25日(金曜日) 20:55～21:23

場所：栗東市コミュニティセンター治田東

出席者：(滋賀県) 高木琵琶湖環境部長、中村参与、湯木最終処分場特別対策室長、
大菅参事、川端主査、平田主査、小形主任技師、岡田主任主事、
井上主任主事 (コンサル2名)

(栗東市) 國松副市長、高田部長、武田課長、川端係長

(自治会) 小野、赤坂、上向、北尾団地、中浮気団地、日吉が丘、
栗東ニューハイツの各自治会から計14名

(県議会議員) 0名

(市議会議員) 0名

(傍聴) 1名

(報道機関) なし

(出席者数 30名)

県から資料1を説明

- (1) 事例紹介資料には、休憩ハウスのような建物が建っているが、これくらいはできるのか。以前は、建物や根が生える木は困難と聞いていた。
⇒(県) 地中の廃棄物土の攪拌が伴うような大規模なものは難しいと考えているが、平屋や杭基礎を打たないような施設であれば、検討は必要だが、絶対できないということはないと思う。あくまでも地中が攪拌されず、生活環境保全上支障がない状況が前提である。
- (2) 事例紹介として、運動公園を2つ出しているが、栗東健康運動公園とどうしても被ってしまうので、他に違う案を出していただけたらと思う。太陽光や運動公園ばかりではなく、他に違うものがあればお示しいただければと思う。
⇒(県) 事例紹介は来年度も予定しているので、様々な事例を見ていただきながら進めていきたい。
- (3) 栗東市から9月に火葬場の建設予定地について説明があり、場所は旧 RD 処分場のすぐ近くである。また、栗東健康運動公園については新市長がホースパークにしようと言っている。これらは跡地利用にも関わってくる話であり、次回は火葬場の予定地と健康運動公園、旧 RD 処分場の位置がわかるような空からの写真を出して欲しい。そうすると位置関係がよくわかって話が見えやすくなると思う。それと栗東市に聞きたいが、ホースパークは火葬場の問題、RDの問題とどのように関係するのか。
⇒(県) 空からの写真については、次回の跡地利用協議会で提出する。

⇒（市）栗東健康運動公園については、財政状況等色々あって進んでいなかったが、昨年度くらいから構想段階に入っているだけで、実際どういう中身にするかはこれから計画を立てる段階であるため、地元の皆さんには、正式には今後協議に入らせていただくことになろうかと思っている。

火葬場については、自治会長や役員には10月1日までに説明会を行っており、10月1日からは新たに草津市と共同で設立した草津栗東行政事務組合が対応しているため、今後、地元の皆さんに十分納得していただけるように説明に上がるという形になろうかと思う。

今のご意見については、市長に十分伝えるようにさせていただく。

⇒（住民）決まってから形だけ市民を参加させるのではなく、計画段階から地元住民を巻き込んで政策を考えていかなければならないことは行政の常識だと思っていた。火葬場についてはここが最終候補地だと言っている。ホースパークに関しては地元に関心がなく寝耳に水の話だ。そのようなやり方は今後続けるべきではない。これはRD問題の教訓でもあり、地域というのは地域住民と一緒にあって行政も政治家も考えていくべきということを肝に銘じていただきたい。

（4）跡地利用は、法律的に色々制約があるとは思いますが、図面だけ見てもわかりにくいので、実際に見に行くことはできるか。

⇒（県）法律を含めて事務局でまず課題整理を行い、皆さんと共有したうえで、どのようなものができるのか、具体的に見えてきた段階になれば、類似の事例と一緒に見に行くのも一つの方法と思うので、今後検討していきたい。

（5）有効に使える土地の面積は何haくらいになるか。

⇒（県）旧RD処分場の敷地面積は、全て含めると5ha程であるが、実際に有効に活用できると考えられる天端部分は2ha弱である。